

# おぞの

尼崎市立小園小学校

平成31年1月31日

No.11

## — 家族・仲間の絆と命の大切さ —

校長 平家祐孝

今年もまた、白くかわいいスイセンの花が咲き始めました。まだまだ寒さは続きますが、初春の訪れを感じさせてくれています。

1月16日(水)開催の学校公開には、多数参観いただき、ありがとうございました。教室での子ども達の発表に、満面の笑顔で拍手を送ってくださる保護者の方や運動場での体育では、冷たい風が吹く中、子ども達の精一杯の活動に温かい視線で見つめる保護者の方もいらっしゃいました。声は届かなくても、おうちの方の声援・応援を子ども達はきっと感じていたと思います。

1月17日(木)には、例年の南海トラフ地震に備えた避難訓練を「1・17は忘れない」園田地区地域防災訓練として防災訓練を行いました。子ども達に加え、最寄りの公園に集合され学校に来られた地域の方々も加わり、総勢900人以上の訓練となりました。校内では、地震対応の基本であるシェイクダウン訓練(まず低く、頭を守る、動かないで待つ)に始まり、南海トラフ巨大地震による津波に備えた高所へ移動する垂直避難訓練も行いました。また、地域の代表者による校門の開錠訓練や子ども達による消火訓練や身近なものを用いた応急処置等の訓練を行いました。山や高台のない地域において、もしもの時の避難場所などについてご家庭で話し合う機会を設けてほしいと思います。

1月27日(日)には、毎年楽しみにしているピッコロシアターでの第69回演劇発表会が行われました。多くの在校生に加え、松葉杖をつきながら駆けつけた卒業生や10名以上の本校職員も応援に駆けつけました。演目は「ナマケロナマケロ」。ナマケロ星人が目標を持って頑張ろうとする子ども達を「怠け病」にならせ、地球を乗っ取るというストーリーでした。大きな声やダンス、表現豊かな動きなど、普段の学校生活では見る事のない姿を発見することができました。学校を救ったけど、怠け損ねたテツオ君が去年に続きいい味を出して、思わず笑ってしまう楽しい劇でした。2月19日の校内発表会も楽しみです。

### □インフルエンザの大流行

インフルエンザが猛威を振るい、西宮市では「学校閉鎖」もあったと聞いています。本校の学級閉鎖は、今のところ2年生と6年生の2クラスに留まっていますが、子ども達がしんどい目に遭わないように、通常の学習活動を保てるように、基本的な体調管理は勿論のこと、手洗い・うがいの習慣作りを徹底したいものです。